

(数学 I) 学習指導案

					授業者	(省略)
学級	1 年 9 組	教室	2 1 4 教室	日時	平成 2 1 年 5 月 2 7 日 (水) 曜 第 1 限	
単元	第 2 章 2 次関数			教科書	改訂版 数学 I (数研出版)	
指導目標	関数を用いて、数量の変化を表現することの有 用性を認識させる。また、2 次関数のグラフの特 徴や平行移動の意味を理解させ、グラフを用いて 関数の最大値・最小値を求めることができるよう にさせる。			指導 計 画	第 1 節 2 次関数とグラフ 1 関数とグラフ …………… 3 時間 2 2 次関数のグラフ …………… 7 時間 3 2 次関数の最大と最小………… 5 時間 (本時はその 2 時間目) 4 2 次関数の決定…………… 2 時間	

本時の指導

主 題	定義域に制限がある場合の最大と最小				
予習課題	教科書 P.78 を予習しておく。				
目 標	2 次関数のグラフをもとにして、定義域が実数全体またはある範囲に制限された場合の最大値・ 最小値の意味とその求め方を理解させる。				
本 時 の 指 導 程 序	学 習 活 動	時間	指 導 上 の 留 意 事 項	評 価 の 観 点 ・ 資 料 等	
	導 入	5	・ 2 次関数は標準形に変形し、グラフから最大値最小値を調べることができることを確認させる。	・ 前時の内容が定着しているか。 <知識・理解>	
	展 開	5	・ 定義域を制限した場合の最大値・最小値の求め方を理解させる。	・ グラフと関連づけて考えることができているか。 <数学的な見方や考え方>	
	展 開	5	・ 定義域が開区間の場合について考えさせる。	・ 閉区間と开区間の区別ができているか。 <知識・理解>	
	展 開	1 0	・ 生徒に板書させる。	・ 丁寧な板書ができているか。 <表現・処理>	
展 開	2 0	・ a の値が変化することによりグラフがどのように変化しているかを考えさせる。 ・ 軸が移動することにより最大値・最小値が変わることを理解させる。 ・ 机間指導を行い、生徒の理解度を把握する。	・ プリント ・ 平方完成できるか。 <知識・理解> ・ 頂点、軸が動いていることに気が付くか。 <数学的な見方や考え方> ・ 積極的に問題に取り組んでいるか。 <関心・意欲・態度>		
整 理	1 本時のまとめをする。	5	・ 本時のまとめと次時の課題を確認させる。		
整 理	2 次時の学習内容を確認する。				
備 考	類型 (共通) 生徒数 4 0 名 (男子 2 1 名、女子 1 9 名)				

